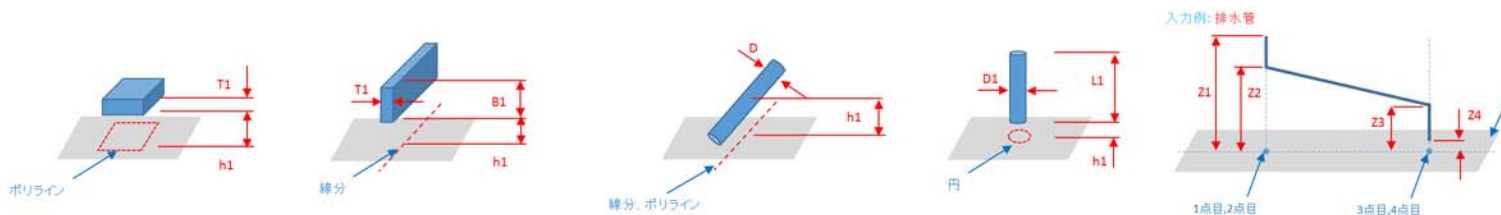



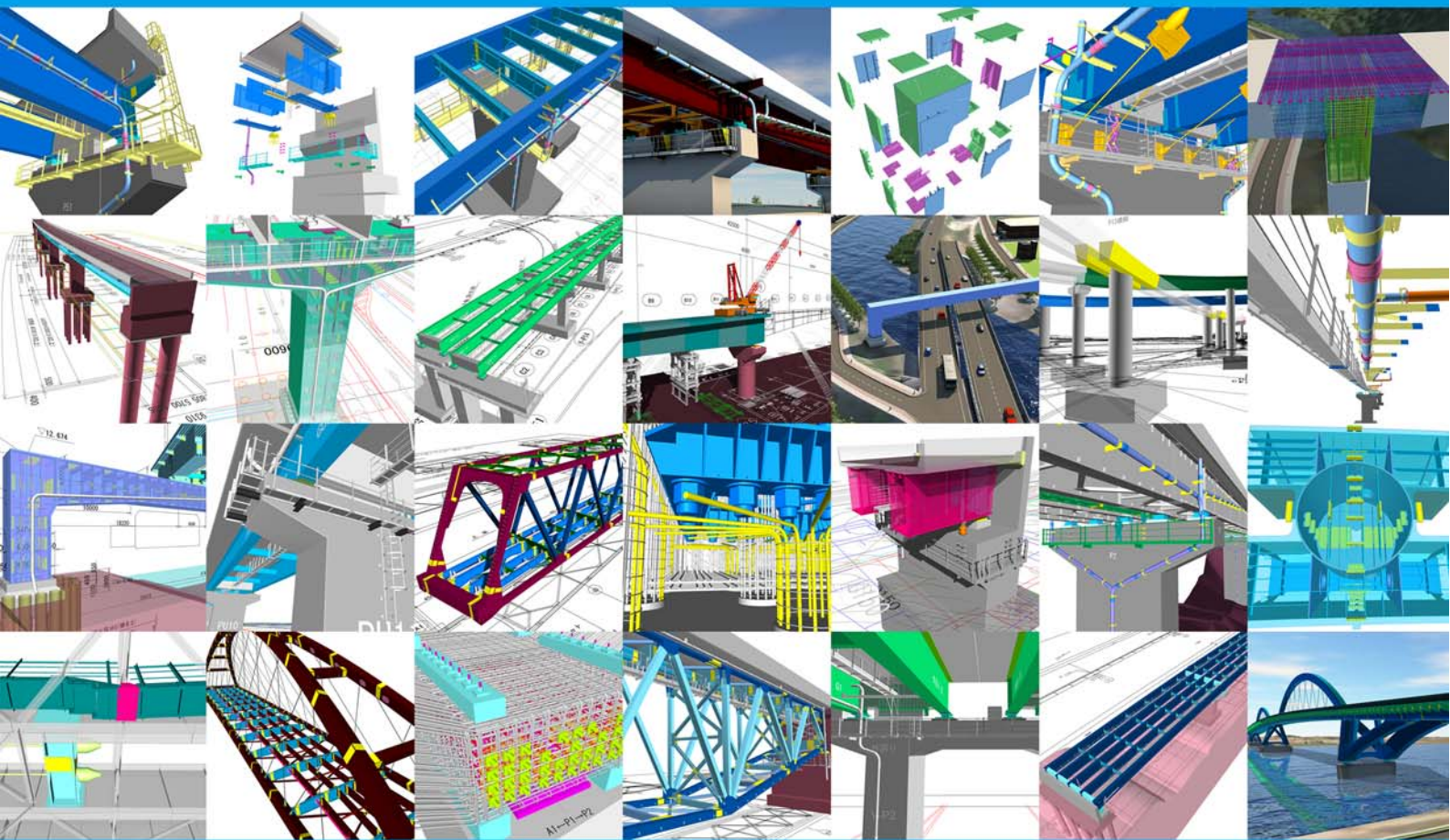


Click3Dは、AutoCAD/Civil3Dと表計算ソフトExcelを利用した橋梁3Dモデリング支援プログラムです。
鋼橋オプションは、CIM導入ガイドライン(案)第5編橋梁編の**モデル詳細度 300~400**に適用可能です。



- 
 設計者が普段使い慣れた2DCADの操作感覚で橋梁の3Dモデルを作成できるため、初心者の方にも使いやすいです。
- 
 AutoCADは特定の業種に特化していないため、細かい部分にとらわれずに3Dモデルを作成することができます。
- 
 線形座標図から連動する「鋼橋オプション」は、鈹・箱桁橋の構造形式に対応した鋼橋専用モデリングツールです。

Click3Dを利用したモデリング事例



Click3D販売価格

- ・基本機能 1ライセンス
- ・鋼橋オプション 1ライセンス お問い合わせください
- ・保守サービス 1ライセンス

保守サービスには、メールによるQA対応、アップデート版提供を含みます。

実行環境：AutoCADが動作するWindowsパソコン、USBポート1
 必要ソフトウェア：AutoCAD または Civil3D、表計算ソフト Excel
 納品形式：Excelファイル (xlsx)

※ 価格はすべて消費税抜きです

開発元

お問い合わせ先



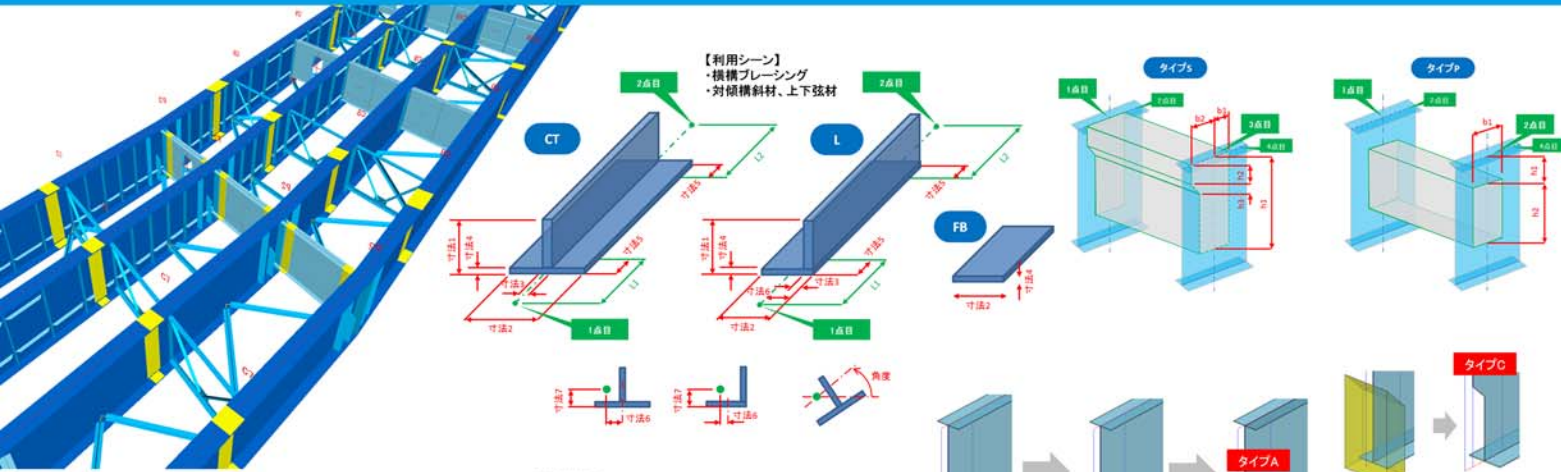
橋梁CAD/CAM/CIM、デジタルモックアップ

オフィスケイワン 株式会社

<http://www.office-k1.co.jp>

〒550-0013 大阪市西区新町1-10-2 大阪産業ビル8F
 TEL. 06-6567-8951 FAX. 06-6567-8861

線形図をExcelに読み込み ⇒ 線形座標に主桁断面、添接、補剛材を定義してAutoCAD上に3Dを自動作成 ⇒ その他部材を専用コマンドで作成
 専用コマンド：添接板、横桁、ダイヤフラム・横リブ、V・Hスティフナ、巻き立てコンクリート、桁端切欠き、対傾構、横構、など

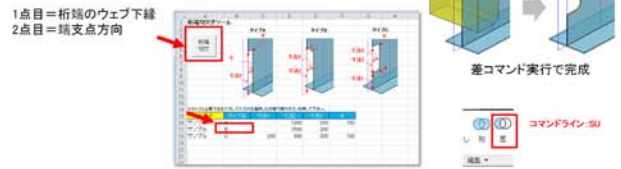
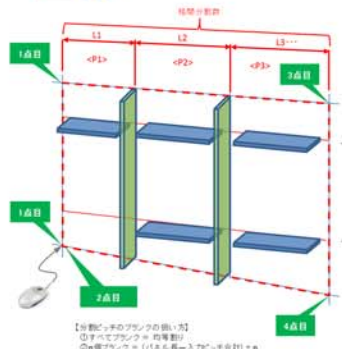


水平補剛材配置

タイプ名	設置位置
U1	上1段
L1	下1段
UL1	上下1段
U2	上2段
L2	下2段
UL2	上下2段

水平補剛材種別

カット角度
 タイプAのフロントを
 前へずらす場合は
 カット角を0にする



当該ジョイント断面のセルを選択した状態で接続板30ボタンを実行

※緑水金具との取り合い確認としてウェブSPL幅が重要

1点目 = 上フランジ 添接位置
 2点目 = // 縦断勾配
 3点目 = 下フランジ 添接位置
 4点目 = // 縦断勾配

※骨組みにジョイント位置がない場合は最寄りの格点からの距離指定が可能です。
 ※フランジSPLの孔引きタイプ(八角形)は未対応
 ※鉛直ウェブのみの対応(斜めウェブは不可)

部材サイズ

部材名	規格	長さ	重量
上フランジ	SL	400	1262.21
下フランジ	SL	400	1262.21
ウェブ	PL	1000	1000.00
添接板	PL	400	600.00
スチフナ	PL	100	100.00

ダイヤフラム

【注意点】
 ・ダイヤフラム位置はウェブ中心面
 ・ダイヤフラムはサイズ指定
 ・縦リブはロボット用の彫製を作成(薄セッタのみ)
 ・彫製形状は鉛直ウェブのみ(注)

横リブ

細部にとらわれず干渉チェック
 などのフロントローディングが
 可能な鋼橋3Dモデルを素早く
 作成したい方に最適なツール！

切り抜きは差コマンド実行で完成

平成29年度CIM実施方針

①フロントローディング
 ICやJCT等の施工計画検討、
 点検時を想定した設計、
 重機配置計画による安全性検討

②関係者間協議
 交通規制検討、
 地元説明への活用 ※1

【利用シーン】
 ・支点上補剛材、中間補剛材
 ・ジャッキアップ用ベースPL&補剛材
 ・ソールPL

・ウェブの開口
 ・ダブリング

※①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺